

# Genie®

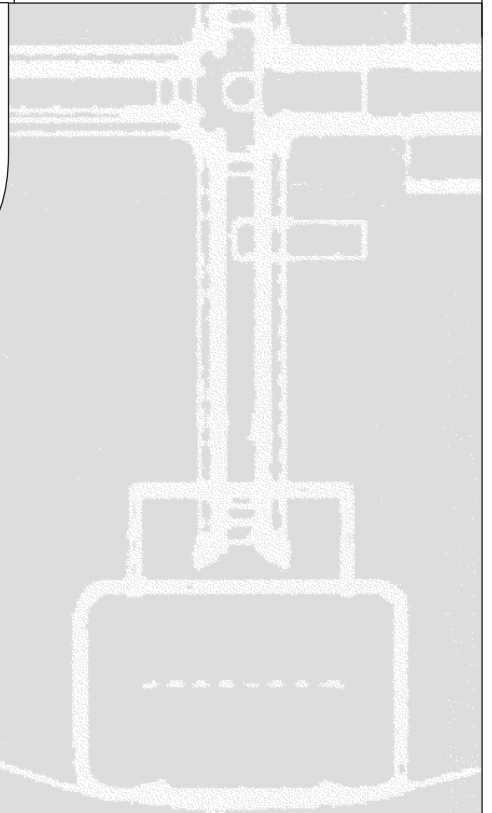


操作説明書  
メンテナンス情報付属

First Edition  
Fifth Printing  
Part No. 52630JA

**Z™-45/25 Bi-Energy**

**Z™-45/25J Bi-Energy**



---

## 重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。

トレーニングを受け認定された担当者のみ、機械を操作することが許されています。本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

---

## 目次

	ページ
安全規則 .....	1
操作 .....	7
操作前の点検 .....	10
メンテナンス .....	12
機能テスト .....	15
作業場の点検 .....	20
操作手順 .....	21
輸送手順 .....	25
ステッカー .....	26
仕様 .....	28

---

## 連絡先:

インターネット:<http://www.genielift.com>  
Eメール: [techpub@genieind.com](mailto:techpub@genieind.com)

---

著作権 © 1999 Genie Industries

第 1 版 : 第 5 刷 2002 年 6 月

「Genie」と「Z」は、米国および他の多くの国において Genie Industries の商標として登録されています。

♻️ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

# 安全規則



## 危険

死亡事故や大けがにつながりますので、本説明書の操作指示と安全規則に従ってください：

以下の項目に従って操作を行ってください。

- 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を理解し、心得てください。

- 2 常に操作前の点検を行う。
- 3 使用する前に常に機能テストを行う。
- 4 作業場を点検する。
- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

- 下記をよく読み、理解し、従う：

製品使用説明書と安全規則 – 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカー

従業員の安全規則と作業場所の規制

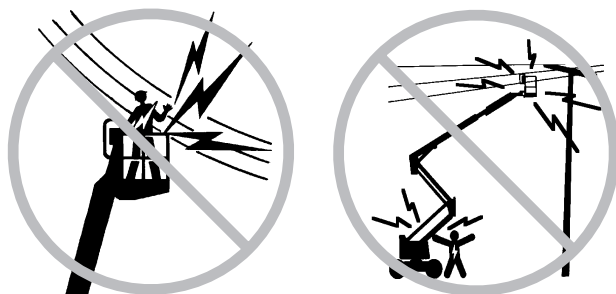
適合する法規

- 安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

### 感電の危険

この機械の電気は絶縁されていないため、電流に接触したり近づくと危険です。



適用する行政の規制および次の図に従って、電線や機械から安全な距離を保ってください。

電圧 範囲	安全上の最小の 接近距離 メートル
0 ~ 300V	接触を避けてください。
300V ~ 50KV	3.1
50KV ~ 200KV	4.6
200KV ~ 350KV	6.1
350KV ~ 500KV	7.6
500KV ~ 750KV	10.7
750KV ~ 1,000KV	13.7

作業台の動きや電線の揺れ・たわみを考慮にいれ、強風・突風に注意してください。

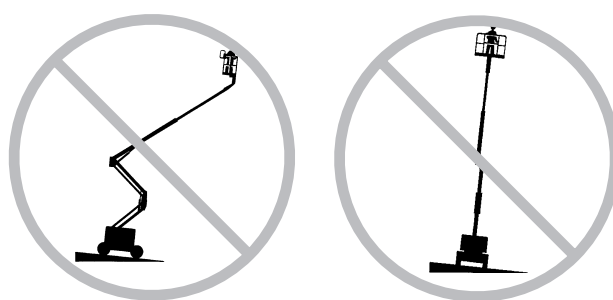
機械が通電している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の作業員は、通電している電線の電気が止められるまで機械に触れたり操作しないでください。

機械にアースを接地しないでください。

### 転倒の危険

作業員と装備の重量は、作業台最大積載荷重量を超えることはできません。

作業台最大積載荷重量	227 kg
最大作業員数	2 名



械を固い水平な地面に設置していない場合は、ブームを上昇もしくは伸長しないでください。

傾斜アラームを傾斜表示器として使用しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合：  
ブームを水平より高く伸長、旋回、上昇させないでください。作業台を上昇する前に、機械を固い水平な地面に移動してください。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらってブームを収縮し、作業台を下げてください。下げている途中でブームを旋回しないでください。作業台を上昇する前に、機械を固い水平な地面に移動してください。

何かの間に挟まったか引っ掛かった、もしくは近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放する目的で、作業台操作を使用しないでください。地上操作を使用して作業台を解放する前に、作業員は全員作業台から降りてください。

## 安全規則

強風や突風の中で機械を操作しないでください。作業台の表面や積載床面を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。

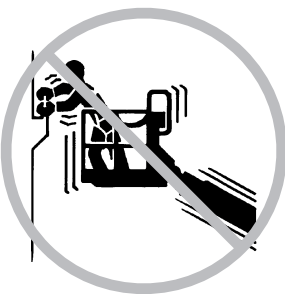


収納された位置から、平らでない、障害物のある、安定していない、または滑りやすい場所を通過して機械を走行しているとき、またくぼみや急に低くなっている近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

平らでない不安定な地面、もしくはその他のブームを上昇または伸張するには危険な状態、またはその近辺では、機械を走行しないでください。

作業台の外の物体を押ししたり、引っ張ったりしないでください。

最大の側面許容圧力 - ANSI/CSA	667 N
最大の側面許容圧力 - CE	400 N

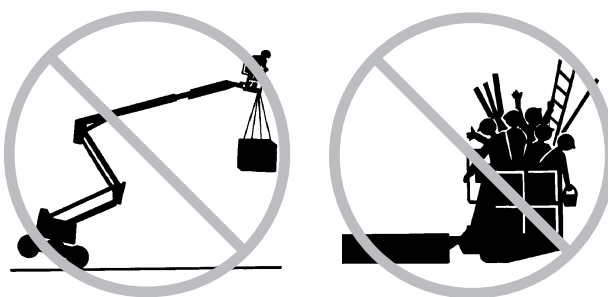


機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性や安定性に影響します。

機械の安定性に大きく関わる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

高所作業台を変更したり改造しないでください。道具を収納するための留め具や他の用具を作業台、踏み板、もしくは手摺りのシステムに取り付けると、作業台の重量や、作業台や積載床面の表面を増大させます。機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。

作業台にはしごや足場を組んだり、また立てかけたりしないでください。



機械を、移動中または移動する面、もしくは車両上で使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好で、ラグナットが適切に締められていることを確認してください。

安全規則

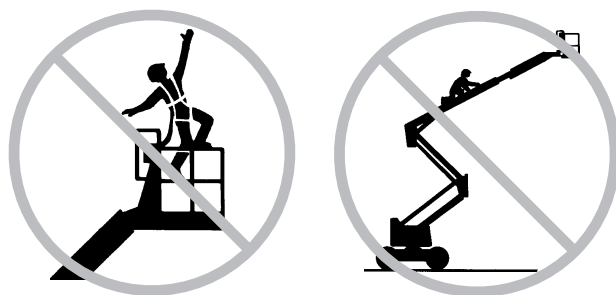
落下の危険



適用する行政の規制に従って、作業員は安全ベルトなどを着用してください。安全帯を作業台の錨に取り付けてください。

機械の操作時に従業員は認可されたヘルメットを着用してください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上ではしっかりと足場を確保してください。



作業台の上昇中は作業台から降りないでください。

作業台の床は常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

衝突の危険



走行または操作中は、視界の限度や死角に留意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置に注意してください。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないかどうかチェックしてください。



作業台手摺りをつかんでいるときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業台操作および走行やステアリング機能の走行シャーシの色別方向矢印をよく見て、使用してください。

ブームの下に人がいないか、また障害物になるものがないかを確認せずに、作業台を下げないでください。



地面の状態、まわりの混雑の具合、傾斜、人の位置、また他の衝突の要因となるものによって、走行速度を制限してください。

あらゆるクレーンもしくは頭上を移動する機械装置の軌道上で、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、ブームを操作しないでください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたり、むやみに騒いだりしないでください。

## 人体への傷害の危険

オイルや空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。オイルや空気漏れは、皮膚に付着したりやけどの原因になります。

一酸化炭素中毒を避けるため、常によく換気された場所で機械を操作してください。

## 部品の損傷の危険

エンジンのジャンプスタートに、12V ボルト以上のバッテリーまたは充電器を使用しないでください。

機械にアースを接地しないでください。

エンジンをスタートする前に、オイル停止バルブ（作動油タンクのそば）が開いていることを確認してください。

## 爆発と火災の危険

LPG、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがするか、もしくは検知されたときは、エンジンをスタートしないでください。

エンジンが動いている状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの交換は、火花、炎、または火のついたタバコのない、広々としてよく換気された場所でおこなってください。

危険な場所や、可燃性または爆発性ガスもしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作しないでください。

## 機械の故障の危険

故障や誤作動している機械は使用しないでください。

シフトの前に、機器の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。故障もしくは誤作動している機械は、ただちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書と *Genie Z-45/25 & Z45/25J Bi-Energy サービスマニュアル* に記載されているすべての安全規則を必ず守ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読めるかどうかを確認してください。

オペレーターの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台上のマニュアル保管場所に置かれているようにしてください。

## バッテリーの安全管理

### 熱傷の危険

バッテリーには酸が入っています。常に保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中和します。

### 爆発の危険

火花、炎、火のついたタバコなどを近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放ちます。

### 感電の危険

電気端子に触らないでください。

## 安全規則

## ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、合図表記を使用しています。



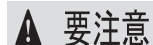
安全警報シンボル—作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡事故の危険を避けるためにすべての安全警告に従ってください。

**危険**

赤—差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷を負ったり死亡事故の原因になります。

**警告**

オレンジ—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷を負ったり死亡事故の原因になります。

**要注意**

安全上の警告シンボルを伴った黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

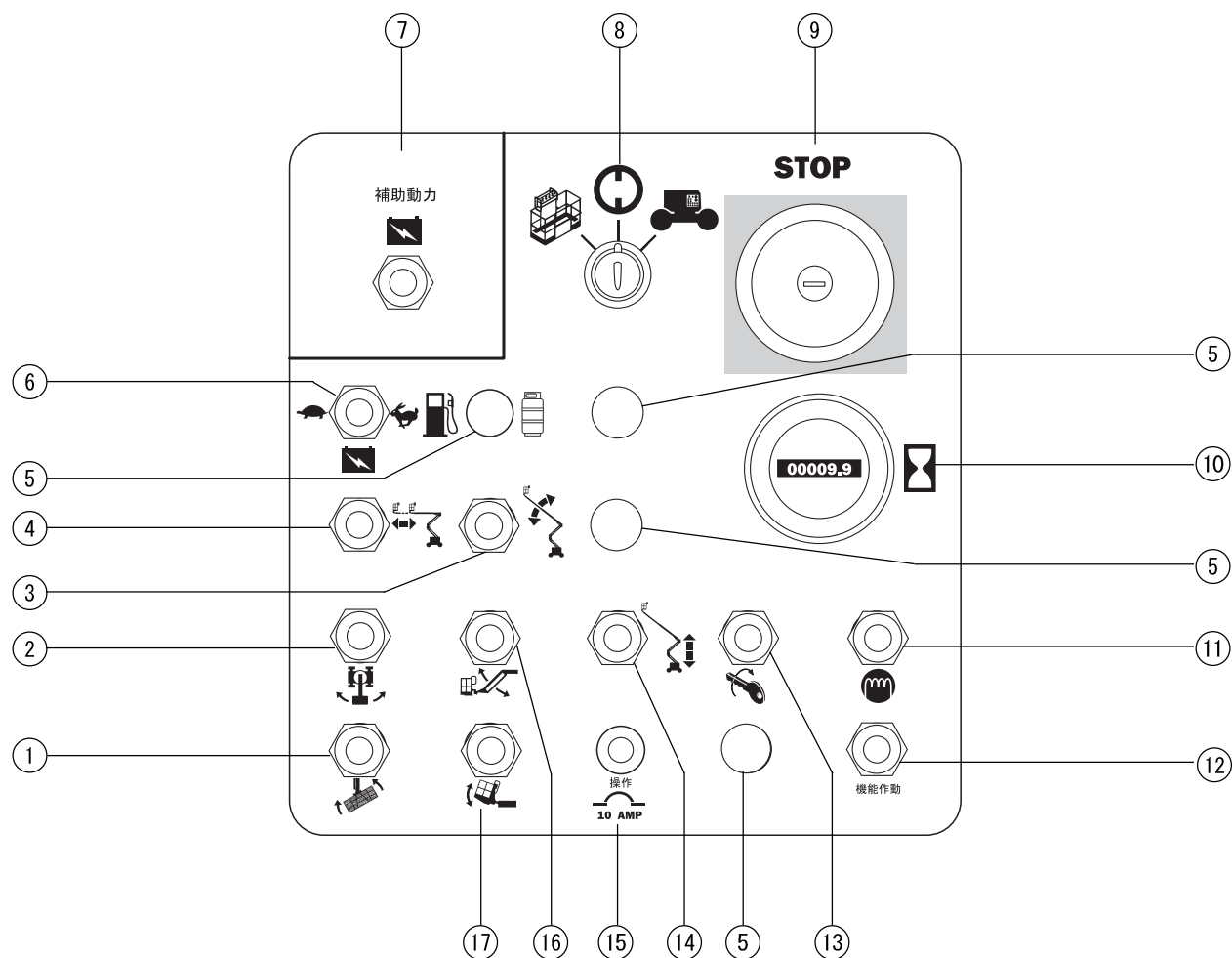
**要注意**

安全上の警告シンボルがない黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

**注意**

緑—操作情報または安全情報を示します。

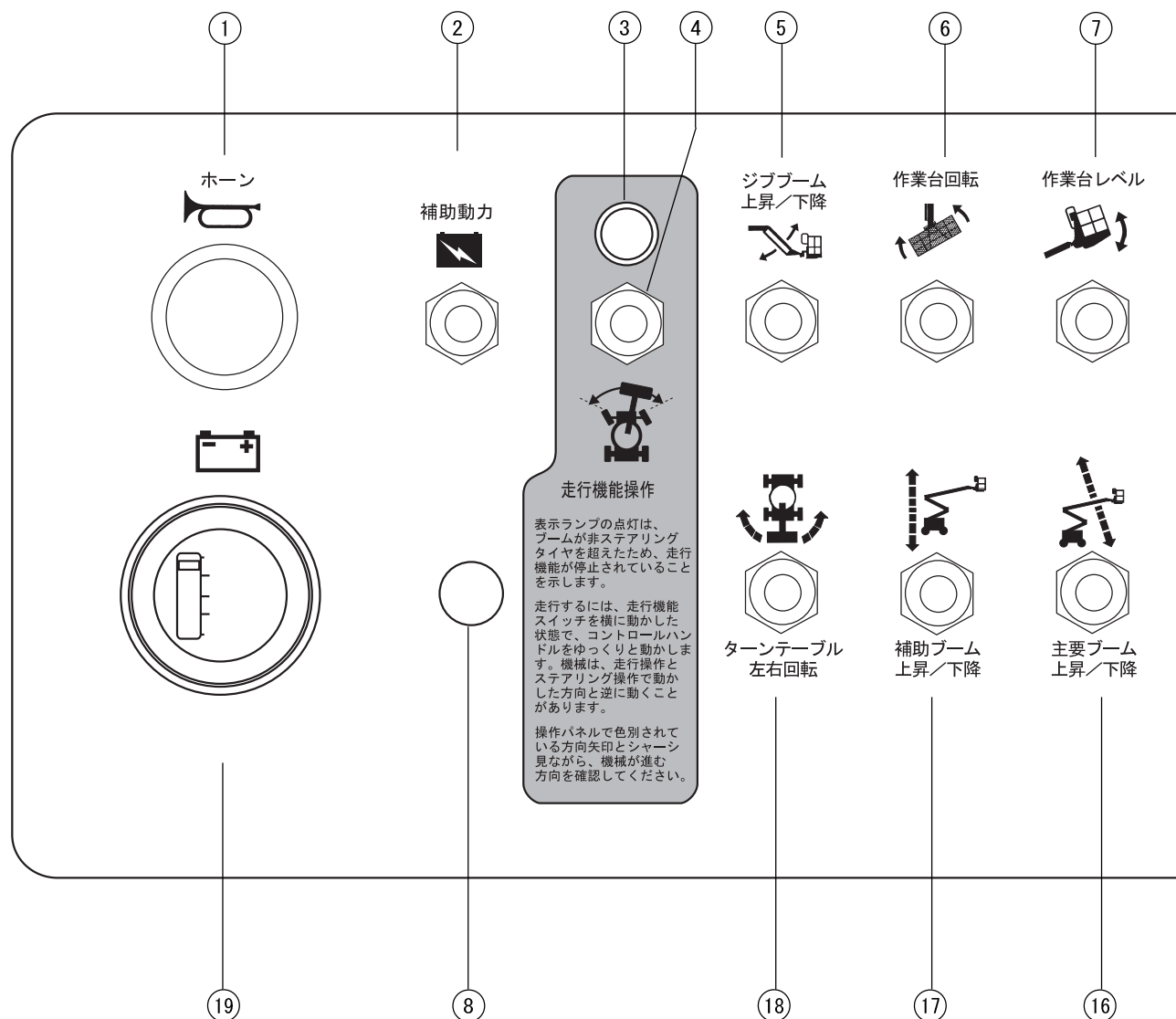




### 地上操作パネル

- |  |  |
|--|--|
| 1 作業台回転スイッチ  | 9 赤色非常停止ボタン                                    |
| 2 ターンテーブル旋回スイッチ  | 10 タイマー  |
| 3 主要ブーム上昇/下降スイッチ   | 11 グロープラグスイッチ                                  |
| 4 主要ブーム伸長/収縮スイッチ   | 12 機能スイッチ                                      |
| 5 Bi-Energy モデルでは使用していません。   | 13 エンジン始動スイッチ                                  |
| 6 エンジンアイドリング (rpm) セレクト<br>スイッチ<br>・ カメ : 低アイドリング<br>・ ウサギ : 高アイドリングとクイック<br>バッテリー充電 | 14 補助ブーム上昇/下降スイッチ                              |
| 7 補助動力スイッチ   | 15 10A 制御電気回路ブレーカー                             |
| 8 作業台/オフ/地上 セレクトキースイッチ   | 16 Z-45/25J Bi-energy モデル : ジブブーム<br>上昇/下降スイッチ |
|  | 17 作業台レベルスイッチ                                  |

操作

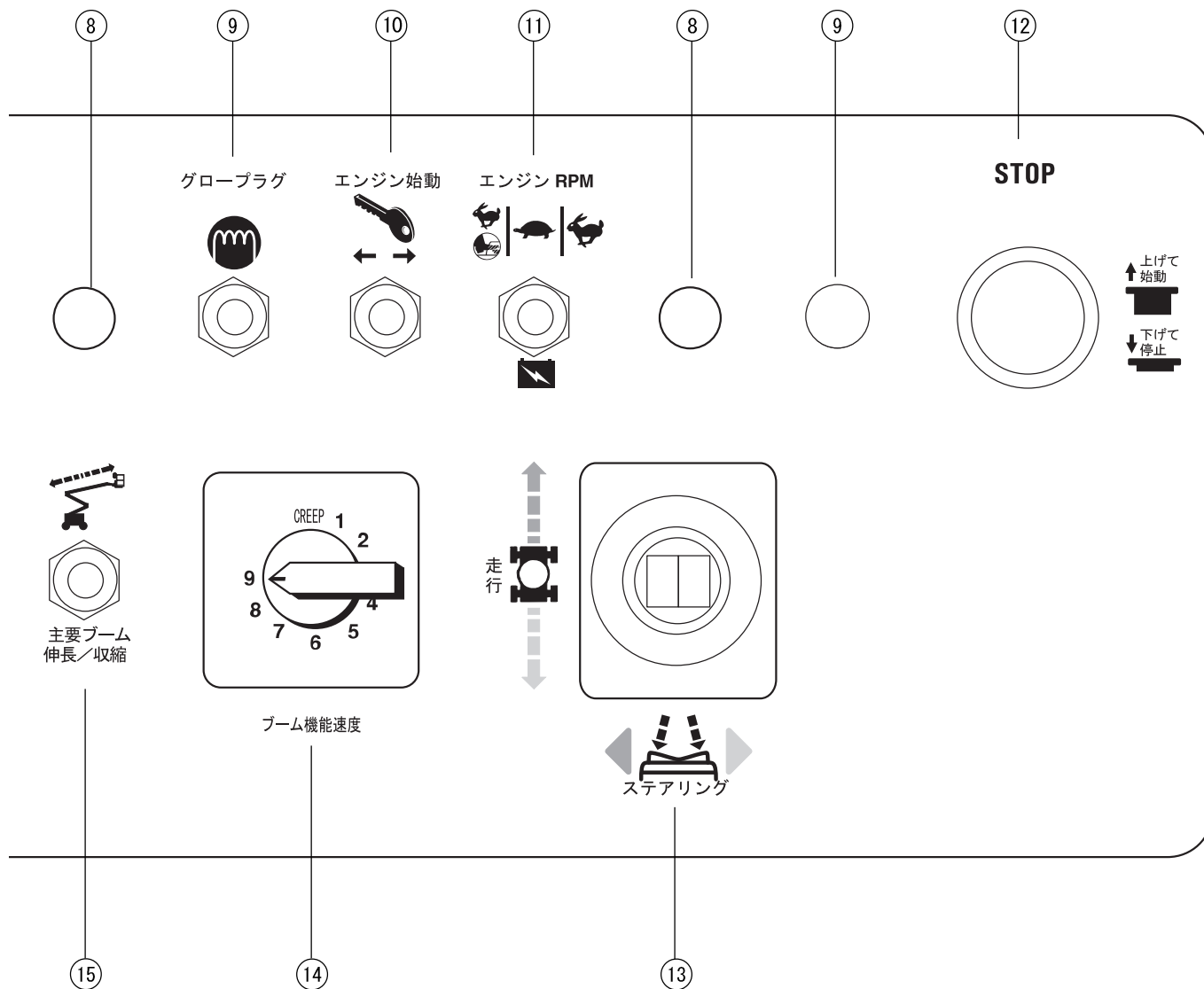


作業台操作パネル

- 1 ホーンボタン
- 2 補助動力スイッチ
- 3 走行機能表示ランプ
- 4 走行機能スイッチ
- 5 Z-45/25J Bi-energyモデル：ジブブーム 上昇/下降スイッチ
- 6 作業台回転スイッチ

- 7 作業台レベルスイッチ
- 8 未使用
- 9 グロープラグスイッチ
- 10 エンジン始動スイッチ

操作



11 エンジンアイドリング (rpm) セレクトスイッチ

- ・ ウサギとペダルスイッチ：高アイドルでペダルスイッチ作動
- ・ カメ：低アイドル
- ・ ウサギ：高アイドルとクイックバッテリー充電

12 赤色非常停止ボタン

13 走行機能用比例コントロールハンドルとステアリング機能用ロッカー

14 ブーム機能速度コントローラー

15 主要ブーム伸長/収縮スイッチ

16 主要ブーム上昇/下降スイッチ

17 補助ブーム上昇/下降スイッチ

18 ターンテーブル左右旋回スイッチ

19 バッテリー充電表示器

# 操作前の点検



以下の項目に従って操作を行ってください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に操作前の点検をよく理解してください。

- 3 使用する前に常に機能テストを行う。
- 4 作業場を点検する。
- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 原則

操作前の点検と規定の安全確認作業はオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、シフトの前にオペレータが目で見に行く点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、機械を目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定の安全処置が必要かどうかを決めます。この説明書に記載してある規定の安全確認項目のみオペレータによって行えます。

次ページのリストで、部品が交換されていないか、損傷部品や、緩んでいたり欠けている部品がないかをチェックしてください。

故障もしくは改造した機械は決して使用しないでください。もし、工場からの輸送状態によって損傷もしくは何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前にもう一度操作前の点検を行ってください。

定期的な安全点検は認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

## 操作前の点検

## 操作前の点検

- オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されているようにしてください。
- すべてのステッカーは、文字が読める状態で、所定の位置にあるか確認してください。ステッカーのセクションを参照してください。
- エンジンオイル漏れがないこと、オイルが適量であることを確認してください。必要であればオイルを足してください。管理のセクションを参照してください。
- 冷却水の漏れがないこと、冷却水が適量であることを確認してください。必要であれば冷却水を足してください。管理のセクションを参照してください。
- 油圧オイルの漏れがないこと、オイルが適量であることを確認してください。必要であれば冷却水を足してください。管理のセクションを参照してください。
- バッテリー液漏れがないこと、バッテリー液が適量であることを確認してください。必要であれば蒸留水をいれてください。管理のセクションを参照してください。
- タイヤの空気圧が適切かどうかを確認してください。必要に応じて空気を足してください。管理のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷している、変更されている、また、きちんと設置されていなかったりなくなっている部品がないかどうかをチェックしてください：

- 電気部品、配線、電気ケーブル
- 油圧ユニット、ホース、取付部品、シリンダー、マニフォールド
- 発電機：ベルトと関連部品
- 燃料と油圧タンク
- 走行、ターンテーブルモータとトルクハブ
- ブーム磨耗板
- タイヤとホイール

- エンジンと関連部品
- リミット・スイッチ、警報
- ナット、ボルト、他の締め具
- 作業台出入口中間レールまたはゲート
- アラームとビーコン（ついている場合）  
機械全体について下記をチェックしてください：
- 溶接や機械部品の割れ
- 機械のへこみと損傷
- 機械を構成しているどの部品も欠けておらず、適合する締め具やピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にしてください。
- 点検が終了した後、コンパートメントのカバーがしっかりとしめられ、ラッチで留められていることを確認してください。

# メンテナンス



## 必ず従うこと：

- ☑ この説明書に記載してある規定の保守項目のみオペレータによって行えます。
- ☑ 定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

## 安全確認記号の説明

### 注意

この説明書では、以下のシンボルを使用して、説明内容の意図を示します。安全確認手順のはじめに1つ以上のシンボルがあらわれる場合は、次を意味しています。



この手順を行うために、道具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

## 油圧オイルの量の点検



オイルの量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとってきわめて重要です。不適切なオイル量で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者はオイルの量を毎日チェックすることにより、オイルの量に変化がある場合には油圧システムでの問題を見つけることができます。

- 1 ブームが収容位置にあることを確認し、油圧電力ユニット上の容器を目で見て点検してください。
- ◎ 結果：オイルの量は、オイル容器の FULL（満タン）と ADD（追加）のマークの間を示していません。

### オイルの仕様

タイプ	Dexron 相当
-----	-----------

## エンジンオイルの量の点検



オイルの量を適切なレベルにしておくことは、エンジンを高性能に保ち耐用年数を長く保つために、きわめて重要です。不適切なオイル量で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

**注意** オイル量のチェックはエンジンを止めて行ってください。

- 1 オイル計量棒をチェックしてください。必要に応じてオイルを足してください。
- ◎ 結果：オイルの量は、オイル容器の FULL (満タン) のマークを示していなければなりません。

---

### クボタエンジン Z482-E

---

要求される油粘性 **10W-30**

エンジンオイルは、API サービス分類の CC/SE、CD/SE、CC/SF、CD/SF グレードの特性でなければなりません。本装置は 10W-40 SG/CC で出荷されます。

---

## エンジン冷却液量の点検



エンジン冷却水の量を適切なレベルにしておくことは、エンジンを高性能に保ち耐用年数を長く保つために、きわめて重要です。不適切な冷却液量は、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者は冷却水の量を毎日チェックすることにより、冷却水の量に変化がある場合には冷却システムでの問題を見つけることができます。

- 1 冷却液回収タンク内の液量をチェックしてください。必要に応じて液を足してください。
- ◎ 結果：オイルの量は、オイル容器の FULL (満タン) のマークを示していなければなりません。

## バッテリーの点検



機械の安全操作にはバッテリーが適切な状態であることが重要です。適切でない液量、あるいはケーブルまたは接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

**警告** 人体への障害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中和します。

**注意** エンジンではバッテリーを完全に充電することができません。AC バッテリー充電器で、定期的に完全にバッテリーを充電してください。

**注意** このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

- 1 保護服と保護用メガネを着用してください。
- 2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないかを確認してください。
- 3 バッテリー通気孔のキャップをとってください。
- 4 バッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときに溢れないようにしてください。
- 5 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。

## 管理確認

## タイヤ空気圧の点検


**⚠ 危険**

転倒の危険。過度に膨張したタイヤは破裂するおそれがあり、機械が安定性を失い転倒する場合があります。

**⚠ 危険**

転倒の危険。パンクしたタイヤを一時的に修理する製品を使用した場合、機械が安定性を失い転倒する場合があります。

**⚠ 警告**

人体への障害の危険。過度に膨張したタイヤは破裂するおそれがあり、重傷を負ったり死亡事故につながる場合があります。

**注意**

この手順は、フォームタイヤを装備している機械では必要ありません。

- 1 各タイヤを空気圧計でチェックして、必要があれば空気を足してください。

---

**タイヤ仕様**


---

工業用タイヤ	9-14.5 LT 6.9 バール
--------	----------------------

---

## 定期安全点検

定期安全点検は、本装置の安全操作トレーニングを受け認定された担当者が本説明書の手順にしたがって行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行ってください。



# 機能テスト



## 以下の項目に従って、操作を行ってください：

本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 常に操作前の点検を行う。
- 3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

- 4 作業場を点検する。
- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、すべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。誤作動が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

## シンボルの説明

- ◎ 一連の操作の後、特定の結果が予測されることを示します。

## 機能テスト

- 1 テストは、障害物のない平らで安定した場所で行ってください。

## 地上操作時

- 2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 3 赤い非常停止ボタンを引いてオンにします。
- ◎ 結果：ビーコンが点滅します(搭載する場合)。
- 4 エンジンを始動させてください。「操作手順」のセクションを参照してください。

## 非常停止のテスト

- 5 赤い非常停止ボタンを押してオフにします。
- ◎ 結果：エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。
- 6 赤い非常停止ボタンを引いて、オンにします。

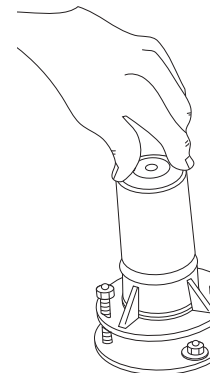
## 機械の機能をテスト

- 7 機能作動スイッチを、ある一方に押したままにしないでください。ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試みてください。
- ◎ 結果：ブームと作業台のいずれの機能も作動しません。
- 8 機能作動スイッチをどちらか一方の側に押したままにし、ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試みてください。
- ◎ 結果：ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。ブームが下がっているときには下降アラームが鳴ります(搭載する場合)。

作業台水平制御解除機能付きの機械：主要ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

## 傾斜センサーのテスト

- 9 キースイッチを回して作業台操作に切り替えまず。赤い地上非常ボタンを引いてオンにします。
- 10 エンジン側のターンテーブルカバーを開いて、油圧ポンプの右の傾斜センサーを見つけてください。
- 11 傾斜センサーの片側を下に押して、5秒間そのままにします。



- ◎ 結果：作業台のアラームが鳴ります。

## 補助制御のテスト

- 12 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 13 赤い非常停止ボタンを引いてオンにします。
- 14 補助動力スイッチをオンにしたまま、各ブーム機能トグルスイッチを作動させてください。

注記：バッテリー電力を一定に保つために、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

- ◎ 結果：すべてのブーム機能が作動します。

## 作業台操作時

### 非常停止テスト

- 15 赤色作業台非常停止ボタンを押してオフにします。
- 16 各機械機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動してください。
- ◎ 結果：機械の機能は作動しません。
- 17 赤い非常停止ボタンを引きます。

### ホーンのテスト

- 18 ホーンボタンを押します。
- ◎ 結果：ホーンが鳴ります。

### ペダルスイッチのテスト

- 19 作業台の赤色非常停止ボタンを押して、オフにします。
- 20 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。エンジンは始動させないでください。
- 21 ペダルスイッチを踏み、スタートトグルスイッチをどちらか片側に動かして、エンジンの始動を試みてください。
- ◎ 結果：エンジンは作動しません。
- 22 ペダルスイッチを踏んだまま各機能をテストしないでください。
- ◎ 結果：機械の機能は作動しません。

### 機械機能のテスト

- 23 ペダルスイッチを踏んでください。
- 24 各機械機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動してください。
- ◎ 結果：すべてのブームもしくは作業台機能がフルサイクルで作動します。

注記：ブーム機能速度コントローラーを調節して、ブーム機能の速度をコントロールしてください。走行およびステアリング機能は、ブーム機能速度コントローラーに影響されません。

作業台水平制御解除機能付きの機械：主要ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

### ステアリングのテスト

- 25 ペダルスイッチを踏んでください。
- 26 走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押し下げてください。
- ◎ 結果：ステアリング・ホイールが走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。
- 27 ロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押し下げてください。
- ◎ 結果：ステアリング・ホイールが走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

## 機能テスト

## 走行とブレーキのテスト

- 28 ペダルスイッチを押してください。
- 29 走行コントロールハンドルを、操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻してください。
- ◎ 結果：機械が走行シャーシの青い矢印の方向に動き、突然停止します。
- 30 走行コントロールハンドルを、操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻してください。
- ◎ 結果：機械が走行シャーシの黄色い矢印の方向に動き、突然停止します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

## 制限走行速度のテスト

- 31 ペダルスイッチを踏んでください。
- 32 主要ブームを約 61 cm 上げてください。
- 33 ゆっくりと走行コントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。
- ◎ 結果：主要ブームが上昇した状態での最大走行速度は毎秒 30 cm を超えないはずです。
- 34 主要ブームを収納位置まで下げてください。

- 35 補助ブームを約 61 cm 上げてください。
- 36 ゆっくりと走行コントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。
- ◎ 結果：補助ブームが上昇した状態での最大走行速度は毎秒 30 cm を超えないはずです。
- 37 補助ブームを収納位置まで下げてください。
- 38 主要ブームを約 30 cm 伸ばしてください。
- 39 ゆっくりと走行コントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。
- ◎ 結果：主要ブームを伸ばした状態での最大走行速度は 0.3 m/秒を超えないはずです。
- 40 主要ブームを収納位置に戻してください。

主要ブームを上げた状態、補助ブームを上げた状態、あるいは主要ブームを伸ばした状態での走行速度が毎秒 30 cm を超える場合は、直ちに機械に故障の張り紙をつけて作業を中止してください。

## 機能テスト

## 走行機能システムのテスト

41 ペダルスイッチを踏み、ブームを収納位置まで下げてください。

42 ターンテーブルを、主要ブームが非ステアリングタイヤのひとつを超えるまで旋回してください。



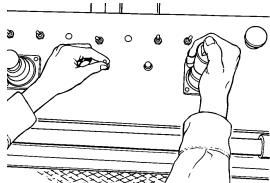
◎ 結果：走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間点灯し続けます。



43 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

◎ 結果：走行機能は作動しません。

44 走行機能トグルスイッチを上か下にしながら、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心から動かします。



◎ 結果：走行機能が作動します。

注記：走行機能システムが使用されているとき、機械は、走行およびステアリングコントロールハンドルが動かされた反対の方向に動くことがあります。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、進む方向を確認してください。



## 補助制御のテスト

45 エンジンを停止してください。

46 赤い非常停止ボタンを引いてオンにします。

47 ペダルスイッチを踏んでください。

48 補助動力スイッチをオンにしたまま、各機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチの作動を試みてください。

注記：バッテリー電力を一定に保つために、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

◎ 結果：すべてのブーム、ステアリング、および走行機能が作動します。走行機能は、補助動力では作動しません。

リフト/走行セレクト機能のテスト  
(搭載する場合)

49 ペダルスイッチを踏んでください。

50 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かし、ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

◎ 結果：ブーム機能は何も作動しません。機械は、操作パネル上で示した方向に動きます。

51 故障箇所はすべて、機械を操作する前に修理しておいてください。

# 作業場の点検



以下の項目に従って操作を行ってください：

本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態での使用を避る。
- 2 常に操作前の点検を行う。
- 3 使用前に常に機能テストを行う。
- 4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 作業場の点検

次の危険な状態を認識し、避けてください：

- ・ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ・ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ・ 頭上の障害物、高圧送電線
- ・ 危険な場所
- ・ 機械の重量に耐えられない地面の状態
- ・ 風や天候の状態
- ・ 関係作業員以外の存在
- ・ その他起こる可能性のある危険な状態

## 原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険をさけてください。

# 操作手順



## 以下の項目に従って操作を行ってください：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
  - 1 危険な状態での使用を避ける。
  - 2 常に操作前の点検を行う。
  - 3 使用前に常に機能テストを行う。
  - 4 作業場を点検する。
  - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 原則

操作手順のセクションでは、それぞれの機械操作の特徴ごとに手順を説明しています。安全規則やオペレータの安全・責務マニュアルの手順に従うことはオペレータの義務です。

人や工具を空中の作業場まで上げる目的以外で機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定されたオペレータのみ機械を操作することが許されています。2人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、それぞれのオペレータが資格を有し、安全規則やオペレータの安全・責務マニュアルの指示に従ってください。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行ってください。

## はじめに

本装置はエンジンが作動しているかどうかにかかわらず操作することができます。

## エンジンの始動

- 1 地上操作で、キースイッチを希望する位置に回します。
- 2 地上操作と作業台操作の両方の赤い非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認します。
- 3 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方の側に動かします。エンジンが始動できないもしくは停止した場合、再始動遅延機能が作動し3秒間始動できなくなります。

15秒間クランクを回してもエンジンが始動しない場合、原因を確定して故障箇所を修理してください。もう一度始動を試みる前に、60秒間待ってください。

寒い状況では、グロープラグスイッチをどちらか一方の側に動かしてそのままにしてから、エンジンを始動します。

マイナス6℃以下の極寒の状況では、グロープラグスイッチをどちらか一方の側に動かしてそのまま10秒間待ち、それからエンジンを始動します。油圧システムの損傷を防ぐため5分間エンジンを温めてください（低アイドルを使用してください）。

## 非常停止

赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にし、すべての地上および作業台操作機能を停止してください。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で、地上あるいは作業台操作から作動できる機能は、修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、作業台の非常停止ボタンは地上操作により優先されます。

## 操作手順

## 補助制御

主要電源が停止した場合に、補助動力を使用してください。

- 1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。
- 2 赤い非常停止ボタンを引いてオンにします。
- 3 作業台から補助制御を操作する場合は、ペダルスイッチを踏んでください。
- 4 補助動力スイッチをオンにしたまま、希望する機能を作動させてください。

走行機能は、補助動力では作動しません。

## 地上からの操作

- 1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 2 赤い非常停止ボタンを引いてオンにします。

### 作業台を位置につける

- 1 機能作動スイッチを、どちらか一方に押したままにしてください。
- 2 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。

走行およびステアリング機能は、地上操作では操作できません。

作業台水平制御解除機能付きの機械：ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

## 作業台からの操作

- 1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。
- 2 地上操作と作業台操作の両方の赤い非常停止ボタンを引いてボタンをオンの位置にします。

### 作業台を位置につける

- 1 ペダルスイッチを踏んでください。
- 2 操作パネルのマークに従って、適切な機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチをゆっくりと動かします。

作業台水平制御解除機能付きの機械：主要ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

### ステアリング

- 1 フットスイッチを押してください。
- 2 ステアリングホイールを走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチで回します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、タイヤの曲がる方向を確認してください。



## 操作手順

**走行**

- 1 ペダルスイッチを踏んでください。
- 2 速度を上げる：走行コントロールハンドルを中心の位置からゆっくり動かします。

速度を下げる：走行コントロールハンドルを中心へ向かってゆっくり動かします。

停止する：走行コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上昇した状態では走行スピードが制限されています。

**走行機能**

表示ランプがオンになると、ブームが非ステアリングタイヤを超えて移動し、走行機能が妨げられたことを意味します。

走行するには、走行機能スイッチをどちらか一方の側に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

機械は、走行およびステアリングコントロールが動かされた方向と反対の方向に動くことがあります。

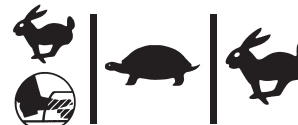
作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で機械の進む方向を確認してください。

**エンジンを停止**

赤い非常停止ボタンを押し、キースイッチを回して、オフの位置にします。

**エンジンアイドリングセレクト(rpm)**

操作パネル上のシンボルで、エンジンアイドリング(rpm)を選択してください。機能速度はエンジンアイドリング速度に影響されません。



- ・ウサギおよびペダルスイッチのシンボル：ペダルスイッチにより高アイドリングを作動
- ・カメシンボル：低アイドリングと低速バッテリー充電
- ・ウサギシンボル：高アイドリングとクイックバッテリー充電

エンジンは高アイドリング状態で充電と機械機能の作動に十分な電力を供給します。低アイドリング状態では、バッテリーの電力を使って、機能を作動します。

**コントローラー故障表示  
ランプ点灯**

コントローラー故障表示ランプがオンの場合、赤い非常停止ボタンを押し数秒待った後、ボタンを引いてシステムをリセットします。

ランプがオンのままであれば、故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

## バッテリーの充電

バッテリーを充電するにはエンジンあるいはACバッテリー充電器を使用してください。

### エンジンによるバッテリーの充電

エンジンを作動することによって、バッテリーは自動的に充電されます。エンジンはハイアイドルの状態では充電と機械機能の作動に十分な電力を供給します。ローアイドルの状態では機械機能の作動にバッテリーの電力を使用します。

すべてのリフトおよび走行機能は、エンジンが作動しているときに操作が可能です。

バッテリー充電表示器はエンジンを2～3分間止めるとリセットされます。

エンジンではバッテリーを完全に充電することができません。ACバッテリー充電器で、定期的に完全にバッテリーを充電してください。

### ACバッテリー充電器によるバッテリーの充電

エンジンが作動していないことを確認してください。

機械に含まれているACバッテリー充電器を使用して一晩充電します。充電器は自動的に停止します。

ACバッテリー充電器で、定期的に完全にバッテリーを充電してください。

## 使用後の注意

- 1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。
- 2 ブームを収納位置まで下げてください。
- 3 ターンテーブルを、ブームが非ステアリングタイヤの間にくるように旋回させてください。
- 4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用をさけるため、キーを取り外してください。
- 5 輪止めをかましてください。
- 6 必要に応じてバッテリーを充電します。

# 輸送手順



## 必ず従うこと：

- ☑ 輸送車両は平坦な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せるときは、輸送車両が動かないよう固定してください。
- ☑ 車両の容量、積載位置、チェーン、ストラップが機械の重量に耐えうる十分なものであることを確認してください。仕様のセクションを参照してください。
- ☑ ブレーキを解除する場合は、機械を水平な地面に止めてあるか、もしくは固定していなければなりません。
- ☑ 輸送の前に、ターンテーブルがターンテーブル旋回ロックで固定されていることを確認してください。操作するときには、ターンテーブルのロックが解除されていることを確認してください。

## 輸送用トラックまたはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

シャーシの荷締め位置を使って輸送車両へ固定ください。

横に動かないように、作業台の下方にある回転ガードを使用してください。ブームを固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。

積載荷重量に対して余裕のあるチェーンやストラップを使用してください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

ゆるんでいたり、固定されていない箇所がないかどうか点検してください。

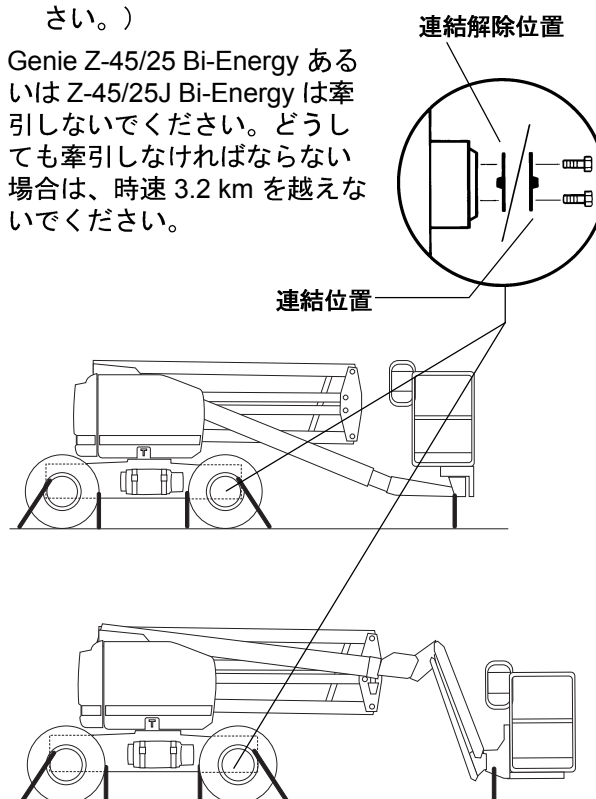
## ウィンチ用のフリーホイール構成

- 1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。
- 2 ドライブハブをひっくり返し、キャップを取り外して、非ステアリングタイヤブレーキを解除してください。（下記を参照してください。）  
リモートブレーキスイッチがついている機械：スイッチを地上コントロールボックスのアダプターに差し込んでください。機械をウィンチしているときは、リモートブレーキ解除スイッチを利用してください。
- 3 走行シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認してください。

機械を載せたら：

- 1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。
- 2 ドライブハブ取外し、キャップを反して、非ステアリングタイヤのブレーキを連結します。（下記を参照してください。）

Genie Z-45/25 Bi-Energy あるいは Z-45/25J Bi-Energy は牽引しないでください。どうしても牽引しなければならない場合は、時速 3.2 km を越えないでください。



# ステッカー

## ステッカーの点検

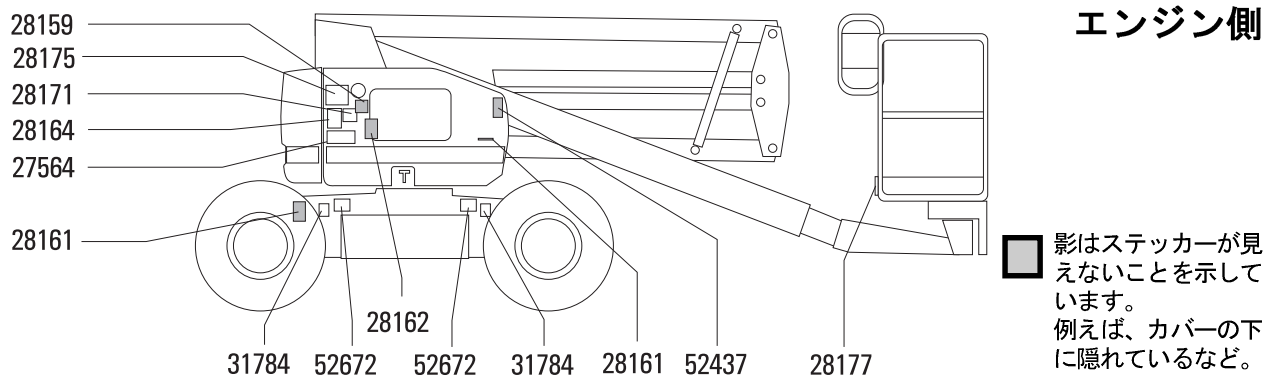
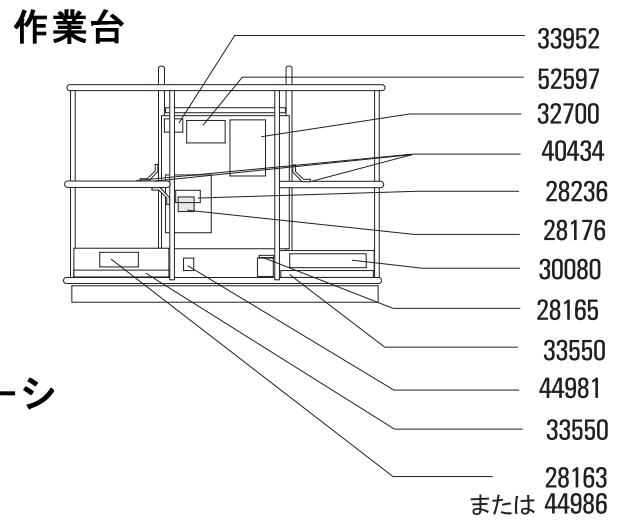
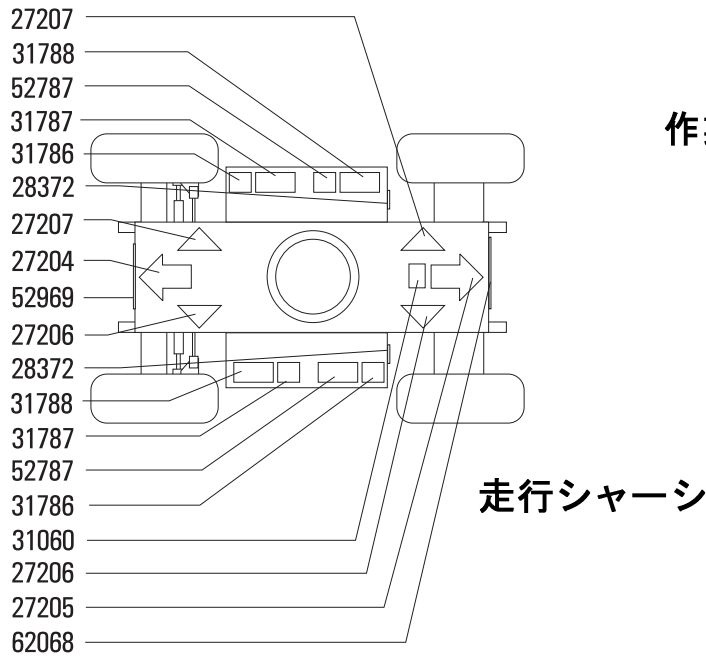
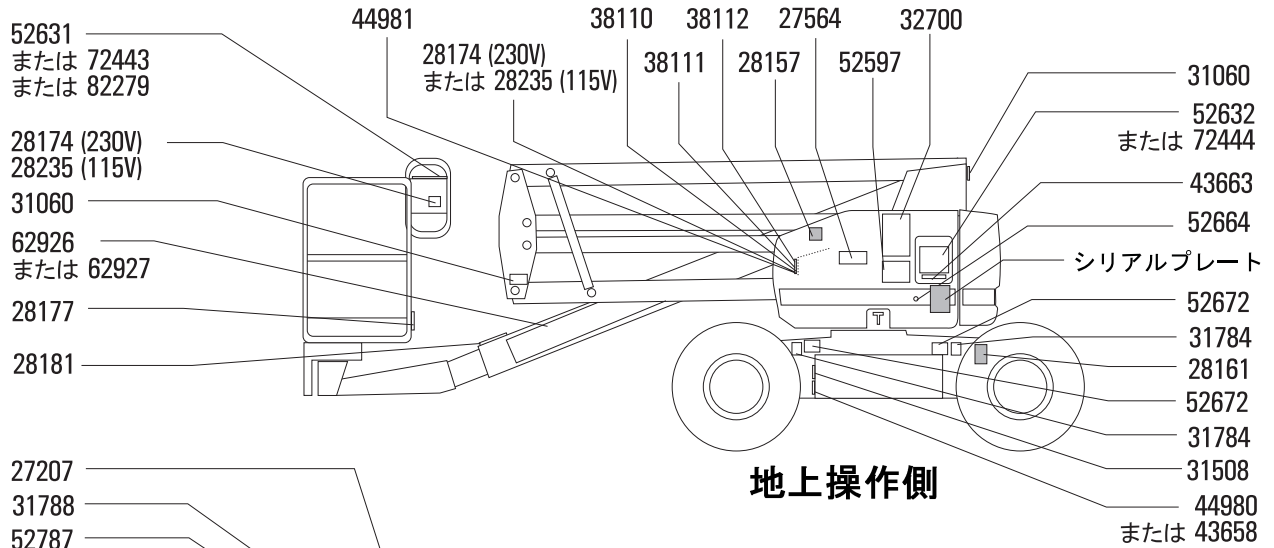
次ページの絵を見て、ステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼ってあるかどうかを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細のリストです。

品番	ステッカーの説明	数量
27204	矢印 - 青	1
27205	矢印 - 黄	1
27206	三角 - 青	2
27207	三角 - 黄	2
27564JA	危険 - 感電の危険	2
28157JA	ラベル - Dexron	1
28159	ラベル - ディーゼル	1
28161JA	警告 - 落下の危険	3
28162JA	警告 - 落下の危険	1
28163JA	注意 - 側方圧力 - 667 N	1
28164JA	注意 - 危険機材	1
28165JA	注意 - ペダルスイッチ	1
28171	ラベル - 禁煙	1
28174JA	ラベル - 作業台への電力 230V	2
28175JA	要注意 - コンパートメントへのアクセス	1
28176JA	注意 - 紛失した説明書	1
28177JA	警告 - 作業台回転	2
28181JA	警告 - 踏まないもしくは乗らない	1
28235JA	ラベル - 作業台への電力 115V	2
28236JA	警告 - 読まないと…	1
30080JA	注意 - 最大積載	1
31060JA	危険 - 転倒の危険、インターロック	3
31508JA	注意 - 充電器への電力	1
31784JA	ラベル - タイヤ空気圧	4
31786JA	注意 - 接続図	2
31787JA	危険 - 転倒の危険	2
31788JA	危険 - バッテリーの安全	2
32700JA	危険 - 安全規則	2

品番	ステッカーの説明	数量
33550	安全テープ	--
33952JA	危険 - 傾斜アラーム	1
38110JA	ラベル - 移動アラーム	1
38111JA	警告 - ブレーキ解除	1
38112JA	要注意 - ブレーキ解除	1
40434JA	ラベル - 安全帯留箇所	3
43658JA	ラベル - 充電器への電源、230V	1
43663JA	注意 - 機能作動	1
44980JA	ラベル - 充電器への電源、115V	1
44981JA	作業台への空気管	2
44986JA	注意 - 最大外圧 - 400 N	1
52437JA	注意 - クボタ・ディーゼルエンジン仕様	1
52597JA	注意 - 操作手順	2
52631JA	作業台操作パネル	1
52632JA	地上操作パネル	1
52664JA	ラベル - コントローラー状態表示ランプ	1
52672JA	危険 - 転倒の危険	4
52787JA	注意 - 充電器の操作手順	2
52969	外装 - Genie ブーム	1
62068	外装 - Bi-Energy	1
62926	外装 - Genie Z-45/25J	1
62927	外装 - Genie Z-45/25	1
72443JA	作業台操作パネル	1
72444JA	地上操作パネル	1
82279	作業台操作パネル	1

ステッカー

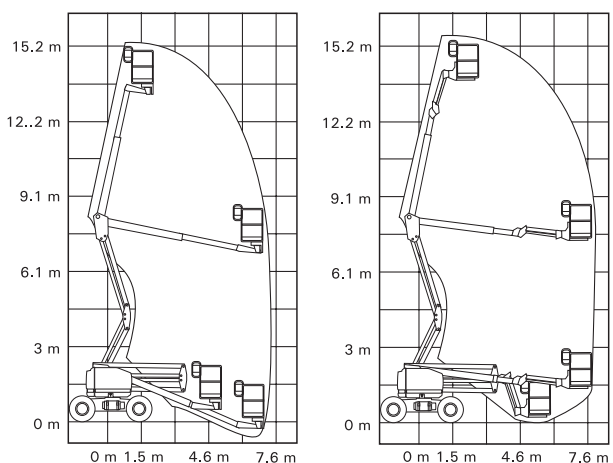


# 仕様

モデル	Z-45/25 Bi-Energy (ジブなし)	Z-45/25J Bi-Energy (ジブ付き)
高さ、操作時 最大	15.7 m	15.6 m
高さ、作業台 最大	13.8 m	13.8 m
高さ、作業台収納時 最大	2.0 m	2.0 m
水平リーチ最大長さ	7.5 m	7.7 m
幅	1.8 m	1.8 m
長さ、作業台収納時	5.5 m	6.8 m
最大積載荷重 1.8 m 作業台	227 kg	227 kg
ホイールベース	2.0 m	2.0 m
旋回半径 (内径)	1.5 m	1.5 m
ターンテーブル旋回 (度)	359°	359°
ターンテーブルによる 後方車体の揺れ	0 cm	0 cm
電源	8 Group-4H, 6V 315 AH バッテリー クボタ Z482 エンジン	
収納した状態での走行速度	4.8 km/時 12.2 m/9秒	4.8 km/時 12.2 m/9秒
走行速度、 ブームが上がっている状態	1 km/時 12.2 m/45秒	1 km/時 12.2 m/45秒
騒音 通常作業の作業場での最大音量 (騒音レベル)	73 dB	
重量	「シリアルプレート」を参照してください。 (機械の重量は、オプション構成によって異なります。)	

モデル	Z-45/25 Bi-Energy (ジブなし)	Z-45/25J Bi-Energy (ジブ付き)
作業台寸法、1.8 m (長さ×幅)	1.8 m × 76 cm	1.8 m × 76 cm
作業台水準化	自己水準化	自己水準化
作業台回転 (度)	180°	160°
制御	24V DC 比例	
作業台 AC コンセント	標準	標準
油圧 (最大) (ブーム機能)	221 バール	221 バール
タイヤサイズ、2WD 工業用	9-14.5 LT	
登坂能力、収納時、2WD	30%	30%
最低地上高さ	17.8 cm	17.8 cm
燃料タンク容量	34.1リットル	34.1リットル

1 作業台旋回張り出し90度



Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。製品の仕様は予告なく変更することがあります。

<b>Genie Holland</b> 電話 +31 70 51 78836 ファックス +31 70 51 13993
<b>Genie Scandinavia</b> 電話 +46 31 3409612 ファックス +46 31 3409613
<b>Genie France</b> 電話 +33 (0)2 37 26 09 99 ファックス +33 (0)2 37 26 09 98
<b>Genie Iberia</b> 電話 +34 93 579 5042 ファックス +34 93 579 5059
<b>Genie Germany</b> 電話 +49 (0)4202 88520 ファックス +49 (0)4202 8852-20
<b>Genie U.K.</b> 電話 +44 (0)1476 584333 ファックス +44 (0)1476 584334
<b>Genie Mexico City</b> 電話 +52 55 5666 5242 ファックス +52 55 5666 3241

**Genie North America**  
電話 425.881.1800  
フリー USA and Canada  
ダイヤル 800.536.1800  
ファックス 425.883.3475

**Genie Australia Pty Ltd.**  
電話 +61 7 3375 1660  
ファックス +61 7 3375 1002

**Genie China**  
電話 +86 21 53852570  
ファックス +86 21 53852569

**Genie Malaysia**  
電話 +60 4 228 1235  
ファックス +60 4 226 6872

**Genie Japan**  
電話 +81 3 3453 6082  
ファックス +81 3 3453 6083

**Genie Korea**  
電話 +82 2 558 7267  
ファックス +82 2 558 3910

**Genie Africa**  
電話 +27 11 455 0373  
ファックス +27 11 455 0355

**Genie Latin America**  
電話 +55 11 4055 2499  
ファックス +55 11 4043 1661

代理店：